

# 島根の労働災害

取り組もう！  
リスク  
アセスメント



無くん！  
労働災害



島根労働局

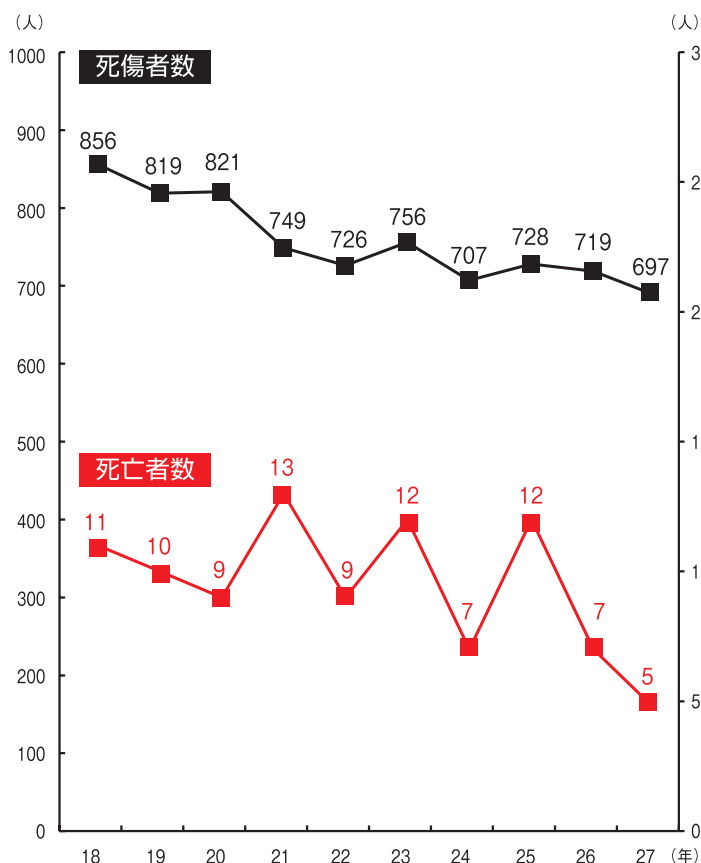
## 労働災害の概況

平成27年に島根県内において発生した休業4日以上労働災害による死傷者数は697人（うち死亡者5人）で、平成26年と比較し22人（3.1%）の減少となりました。

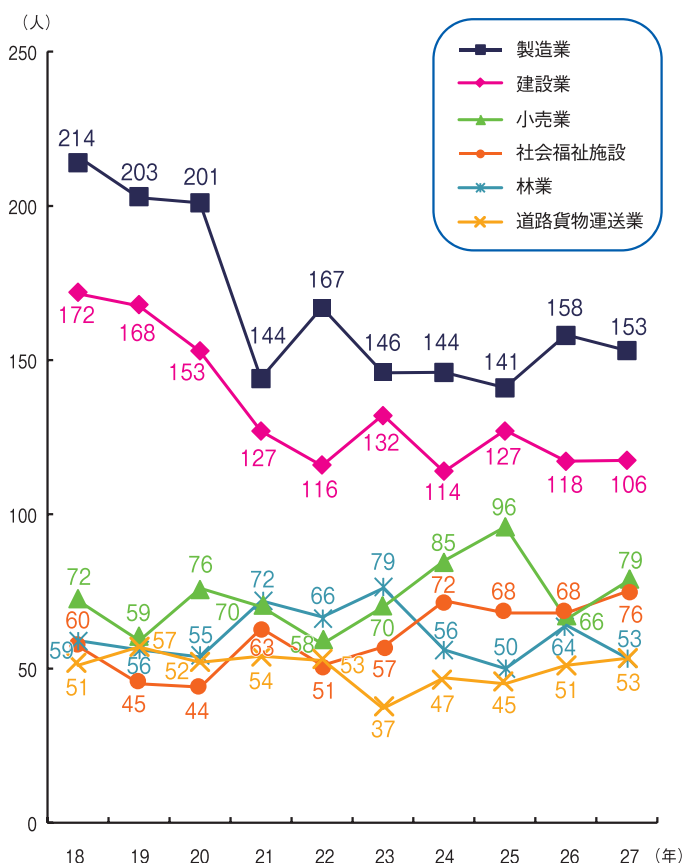
業種別に平成26年の発生件数と比較すると、製造業で5人、建設業で12人、林業で11人減少した一方、道路貨物運送業で2人、小売業で13人、社会福祉施設で8人増加しました。

死亡災害については、平成26年と比べ2人減少しましたが、第三次産業で4人が死亡し、全産業で5人の尊い命が失われました。

年別労働災害発生件数の推移



年別・業種別労働災害発生件数の推移



# 業種別・監督署別労働災害発生状況

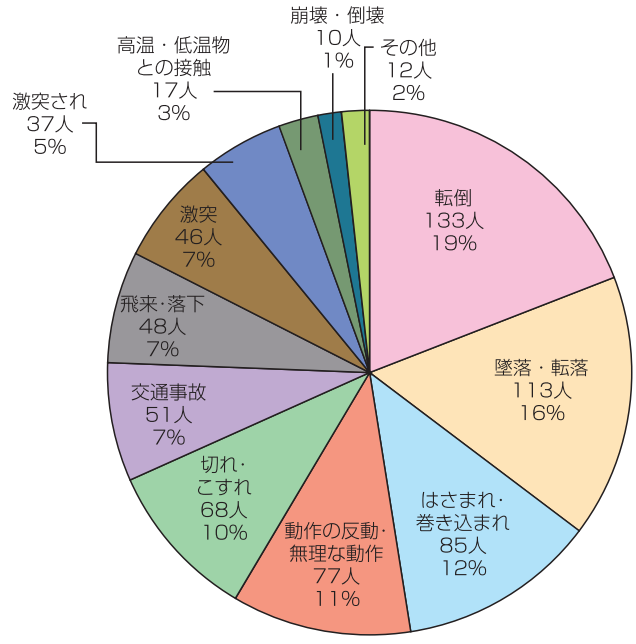
業種	全署計					松江署					隠岐					出雲署					浜田署					益田署					
	26年		27年		増減数	増減率(%)	26年		27年		増減数	26年		27年		増減数	26年		27年		増減数	26年		27年		増減数	26年		27年		増減数
	死亡	死傷者	死亡	死傷者			死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者	
全産業計(除鉱山法適用)	7	719	5	697	▲22	▲3.1	3	282	2	244	▲38	0	24	1	19	▲5	2	247	1	258	11	1	112	1	116	4	1	78	1	79	1
製造業	食料品	0	41	0	49	▲8	19.5	16	15	▲1	2	2	▲2	18	17	▲1	4	12	8	3	5	2									
	繊維・衣服	0	3	0	5	2	66.7			0			0	1	3	2			1	1	2	1	▲1								
	木材・木製品	0	15	0	17	2	13.3	2	5	3			0	7	5	▲2	2	7	5	4		▲4									
	家具・装備品	0	5	0	3	▲2	▲40.0	2		▲2			0	2	1	▲1			0	1	2	1									
	パルプ・紙・紙加工品・印刷・製本	0	6	0	4	▲2	▲33.3		2	2			0	3	2	▲1	2		▲2	1		▲1									
	化学	0	6	0	4	▲2	▲33.3		2	2			0	1		▲1	1		▲1	4	2	▲2									
	窯業・土石	0	20	0	21	1	5.0	4	5	1	1	1	0	8	9	1	7	5	▲2	1	2	1									
	鉄鋼・非鉄	0	15	0	6	▲9	▲60.0	5	3	▲2			0	4	2	▲2			0	6	1	▲5									
	金属製品	0	12	0	8	▲4	▲33.3	6	2	▲4			0	5	5	0	1	1	0												
	機械器具	0	19	0	23	4	21.1	9	14	5		1	1	8	6	▲2	1	1	0	1	2	1									
その他	0	16	0	13	▲3	▲18.8	7	4	▲3			0	4	1	▲3	3	5	2	2	3	1										
小計	0	158	0	153	▲5	▲3.2	0	51	0	52	1	0	3	0	2	▲1	0	61	0	51	▲10	0	21	0	32	11	0	25	0	18	▲7
鉱業	0	1	0	3	2	200.0	1	1	0			0			1	1			0		1	1									
建設業	土木	1	35	0	36	1	2.9	1	8	8	0	3	2	▲1	10	14	4	10	9	▲1	7	5	▲2								
	木造建築	1	22	0	25	3	13.6	1	8	7		1	1	11	8	▲3	1	9	5	▲4	1	4	3								
	その他の建築	1	35	0	25	▲10	▲28.6	1	12	7	▲5	1	1	0	10	9	▲1	9	8	▲1	4	1	▲3								
	その他	1	26	0	20	▲6	▲23.1	19	7	▲12			0	1	4	11	7	3	2	▲1			0								
小計	4	118	0	106	▲12	▲10.2	2	40	0	30	▲10	0	4	0	4	0	1	35	0	42	7	1	31	0	24	▲7	0	12	0	10	▲2
運輸交通	道路貨物運送	0	51	0	53	2	3.9	24	30	6			0	12	13	1	11	6	▲5	4	4	0									
	その他の運輸	0	10	0	4	▲6	▲60.0	5	2	▲3	1		▲1	4	1	▲3	1		▲1		1	1									
林業	伐木・搬出	1	25	0	22	▲3	▲12.0	3	5	2	3	3	0	1	12	9	▲3	5	4	▲1	5	4	▲1								
	造林・その他の林業	0	39	0	31	▲8	▲20.5	13	7	▲6	2	2	0	12	11	▲1	7	9	2	7	4	▲3									
	小計	1	64	0	53	▲11	▲17.2	0	16	0	12	▲4	0	5	0	5	0	1	24	0	20	▲4	0	12	0	13	1	0	12	0	8
第三次産業	小売業	0	66	3	79	13	19.7	28	2	26	▲2	1	1	4	3	21	30	9	11	8	▲3	6	1	15	9						
	社会福祉施設	0	68	0	76	8	11.8	27	24	▲3	7	1	▲6	22	31	9	11	11	0	8	10	2									
	飲食店	0	14	0	20	6	42.9	8	8	0			0	5	10	5			2	2	1		▲1								
	その他の第三次産業	2	143	1	119	▲24	▲16.8	1	72	43	▲29	2	1	▲1	53	1	49	▲4	11	18	7	1	7	9	2						
	小計	2	291	4	294	3	1.0	1	135	2	101	▲34	0	10	1	6	▲4	0	101	1	120	19	0	33	0	39	6	1	22	1	34
その他	0	26	1	31	5	19.2	10	16	6	1	2	1	10	10	0	3	1	2	▲1	3	3	0									

注1：休業4日以上。隠岐は松江署の内数。  
 注2：第三次産業とは、全産業のうち、製造業、鉱業、建設業、運輸交通業、貨物取扱業、農林業、畜産・水産業を除くもの。  
 注3：その他とは、貨物取扱業、農業、畜産・水産業。

## 事故の型別発生状況

### 特徴

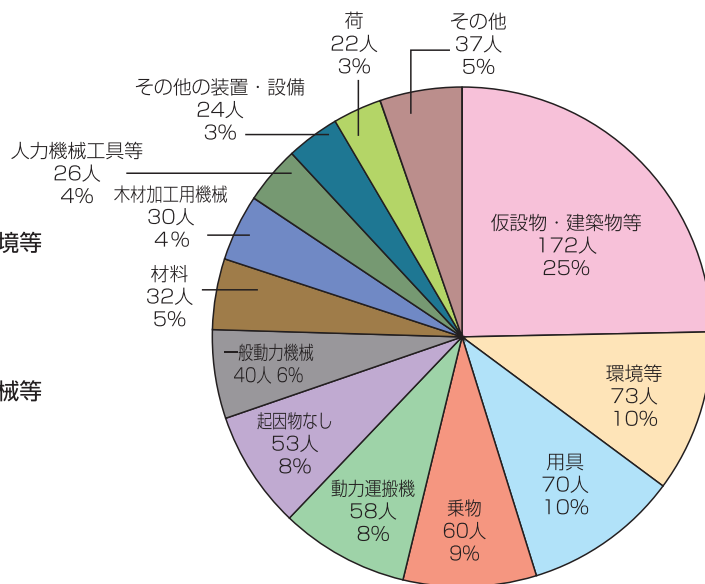
- 転倒………通路に起因して発生しているものが多い。
- 墜落・転落………はしご、トラック、建築物・構築物、階段・棧橋等に起因して発生しているものが多い。
- はさまれ・巻き込まれ………動力機械、動力運搬機等に起因して発生しているものが多い。
- 動作の反動・無理な動作………腰痛の発生が多い。
- 切れ・こすれ………木材加工用機械、手工具等に起因して発生しているものが多い。



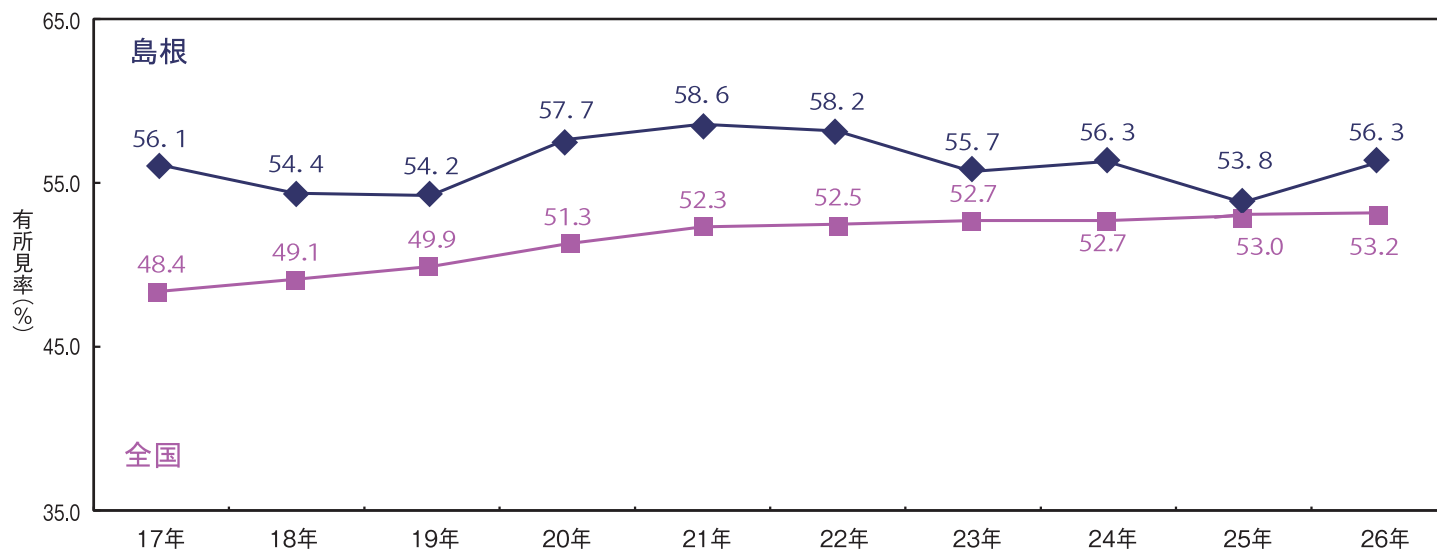
## 起因物別発生状況

### 用語解説

- 仮設物・建築物等 …足場、屋根、通路、建築物等
- 環境等 …地山・岩石、立木、高温・低温環境等
- 用具 …はしご、脚立、玉掛用具等
- 乗物 …乗用車、バス、バイク等
- 動力運搬機 …トラック、コンベア等
- 一般動力機械 …混合機、ロール機、食品加工用機械等
- 材料 …金属材料、木材、石等
- 木材加工用機械 …丸のご盤、チェーンソー等
- 人力機械工具等 …人力運搬機、手工具等
- その他の装置・設備 …冷凍設備、集じん装置等
- 荷 …荷姿のもの、箱物等

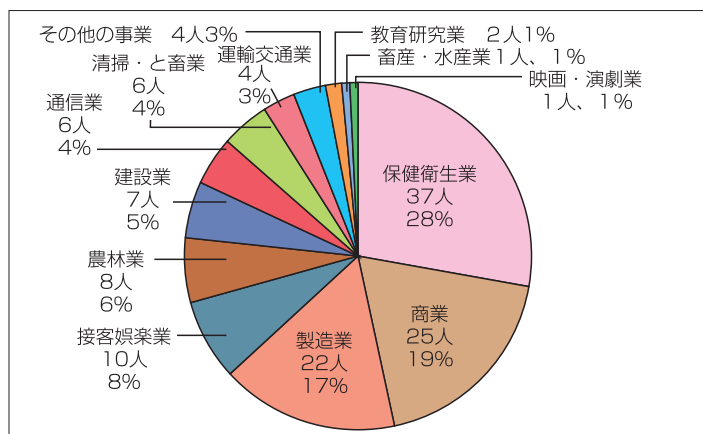


## 定期健康診断有所見率の推移

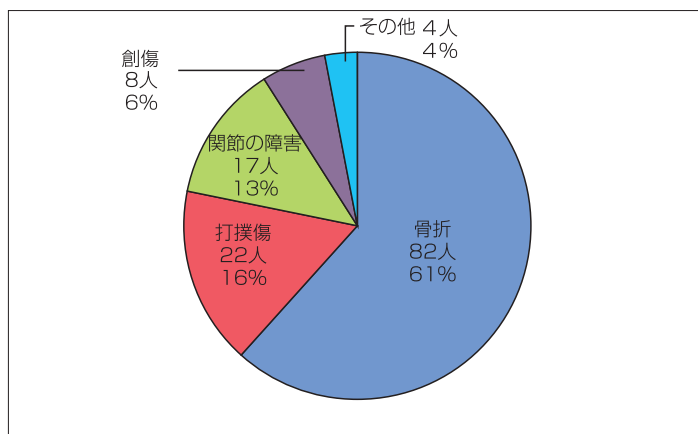


## 転倒災害の発生状況

### 業種別転倒災害発生状況



### 傷病性質別転倒災害発生状況



## 平成26年死亡災害一覧

番号	発生日	業種	発生状況
1	1月	建設業	被災者は、山中で試験作業を行っていたが、装備が不足していたため、作業を中断して下山することにした。 先に下山した作業員らは、被災者が下山してこないため捜索したところ、山道から法面下方約10mの立木に、意識不明の被災者が引っかかっているところを発見したものの。
2	3月	金融・広告業	業務による強い心理的負荷を受けたことにより、精神障害を発症して自殺したものの。
3	5月	建設業	木造家屋改築工事において、瓦を葺く作業のため1階屋根上を歩行中、3.61m下の地面に墜落したものの。
4	5月	建設業	変電所の設備の点検を行うため、点検範囲の停電措置を取ったが、被災者は活線区域の両端に「危険」表示を設置の上、母線の取付け部分のがいしをウエスで拭こうとしたところ感電したものの。
5	6月	建設業	新築建物躯体の3階において、足場から木製型枠の解体作業を行っていたが、同僚が様子を見に行ったところ、足場から2.5m下の床面に意識不明の状態に倒れている被災者を発見したものの。
6	9月	林業	立木にかかり木となっていた枯れ松を処理するため、数回に分けてチェーンソーにより元玉切りを行っていた際、落下したかかり木に激突されたものの。
7	10月	清掃・と畜業	高さ約6.5mにある天井部分のH鋼にはしごをかけて、設備の断線箇所の確認作業を行うためにはしごを上ったところ、はしごが真ん中から折れ、墜落したものの。

## 平成27年死亡災害一覧

番号	発生日	業種	発生状況
1	1月	畜産・水産業	被災者は、給餌作業のため、配合飼料を入れた給餌機を搭載したフォークリフトを運転し牛舎に行った。その後、牛舎前で横転したフォークリフトの運転席付近で倒れているところを発見されたものの。
2	2月	商業	道路建設工事現場内の重機に給油するため、被災者がタンクローリーで工事用道路を登坂していたところ、路肩からタンクローリーごと転落したものの。
3	4月	商業	販売所所有のバイクにて新聞配達終了後、販売店へ帰るために国道を走行中、被災者が運転するバイクがセンターラインを越えて対向車線を走行する車両と衝突したものの。
4	5月	通信業	配達準備のため、配達伝票の整理作業を立位で行っていたところ、そのまま後方に倒れて頭部を床面で打ったものの。
5	5月	商業	バイクにて新聞配達中、相手方の軽トラックと衝突したものの。